

浅海定線調査結果(令和3年4月6日)

福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所

1. 観測結果

		令和3年4月	平年値との差 (平年値)	昨年4月との差 (昨年4月観測値)
水温 (°C)	表層	14.2	+ 2.0 (12.2)	+ 0.5 (13.7)
	底層	14.0	+ 2.2 (11.8)	+ 0.6 (13.4)
塩分 (PSU)	表層	31.44	- 1.20 (32.64)	- 0.65 (32.09)
	底層	31.52	- 1.33 (32.85)	- 0.75 (32.27)
透明度 (m)		3.9	- 0.8 (4.7)	- 0.9 (4.8)

※ 観測値 : 周防灘12定点の平均値を表しています。

※ 平年値 : 過去30年分の同月平均値を表しています。

2. 概況

(1)水温

・表層、底層ともに甚だ高めでした。

昭和47年から令和3年までの50年の全点平均としては、表層は第2位、底層は第1位の高さでした
(表層1位は平成30年の15.0°C、底層2位は平成元年の13.9°C)

(2)塩分

・表層はかなり低め、底層は甚だ低めでした。

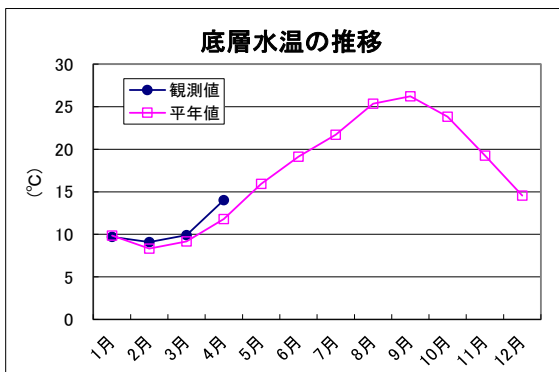
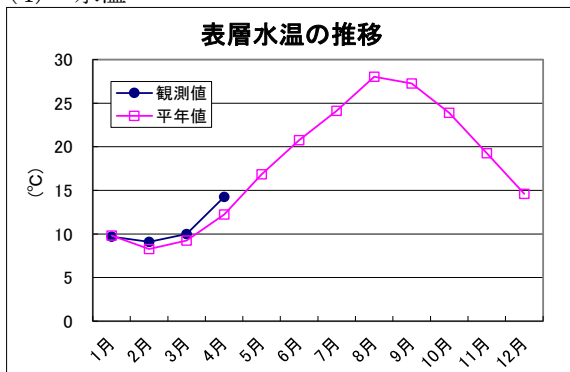
昭和47年から令和3年までの50年の全点平均としては、表層は第3位、底層は第1位の低さでした
(表層1位は平成4年の31.07、表層2位は平成10年の31.16、底層2位は平成4年の31.63)

(3)透明度

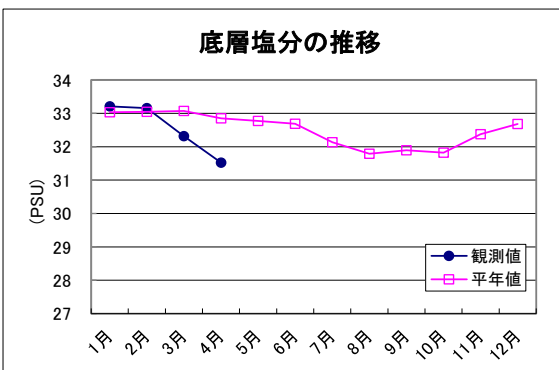
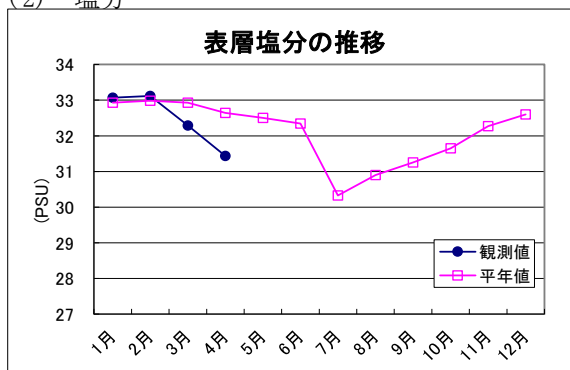
・透明度はやや低めでした。

調査結果(グラフ)

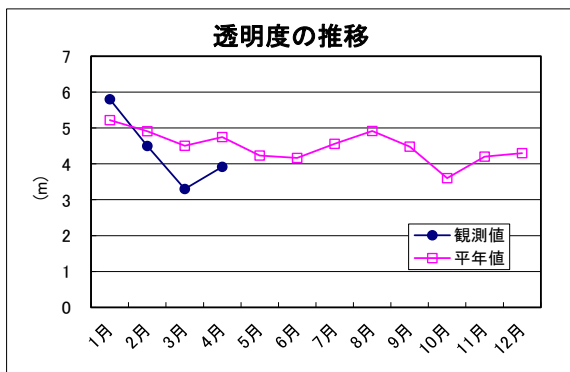
(1) 水温



(2) 塩分



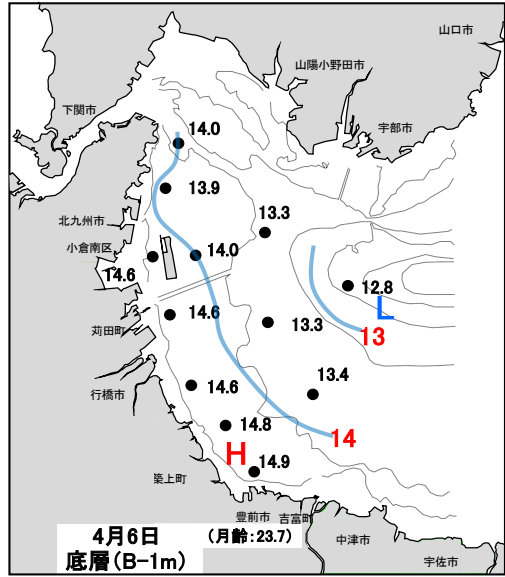
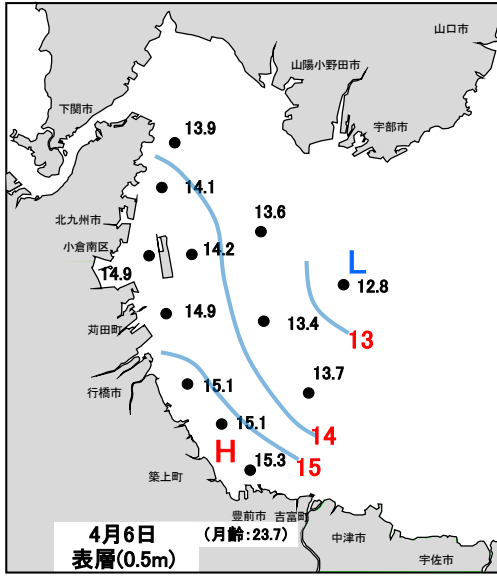
(3) 透明度



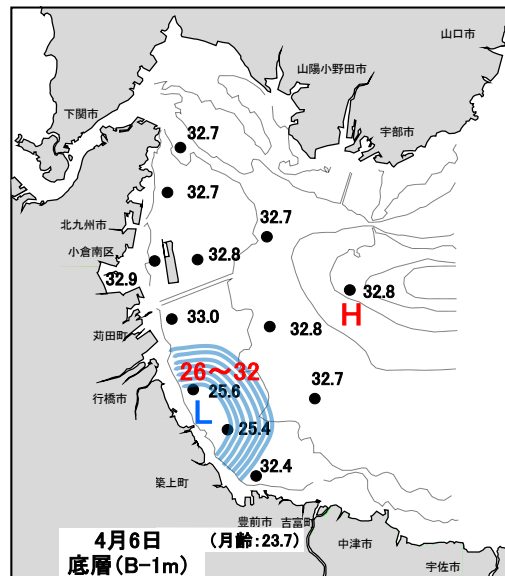
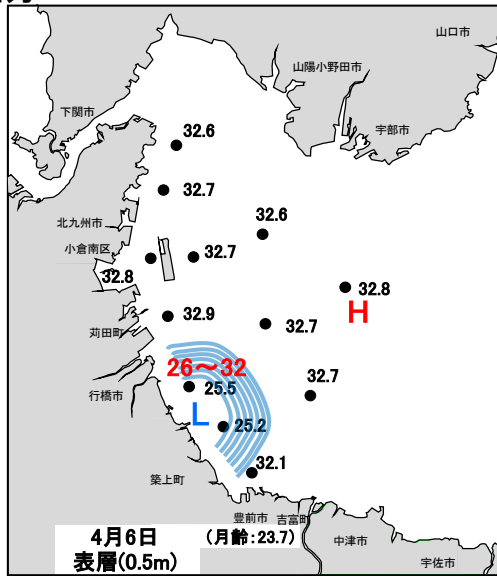
3. その他

- ・調査区域内で赤潮による海面の変色や貧酸素の海域は見られませんでした。
- ・北部と南部の沿岸域調査点の表層と5m層の海水中に麻痺性貝毒プランクトンは確認されませんでした。

水温



塩分



透明度

